

伊豆大島

○火山活動度レベル（平成 17 年 1 月 1 日～31 日）

1（静穏な火山活動）

○概況（平成 17 年 1 月）

火山活動は、落ち着いた状態が続きました。

地震活動は、落ち着いた状態が続きました。地殻変動の観測では、火山活動によると見られる顕著な変化はありませんでした。

○地震活動及び微動の発生状況

期間を通じて地震活動は落ち着いた状態が続きました（表 1、図 1、2）。

火山性微動は、観測されませんでした。

表 1 火山性地震日別回数表（伊豆大島）

伊豆大島 (A点)

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日		旬計	
	0	0	0	1	1	2	0	1	1	0		6	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日		旬計	
	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0		5	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	旬計	月計
	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	4	15

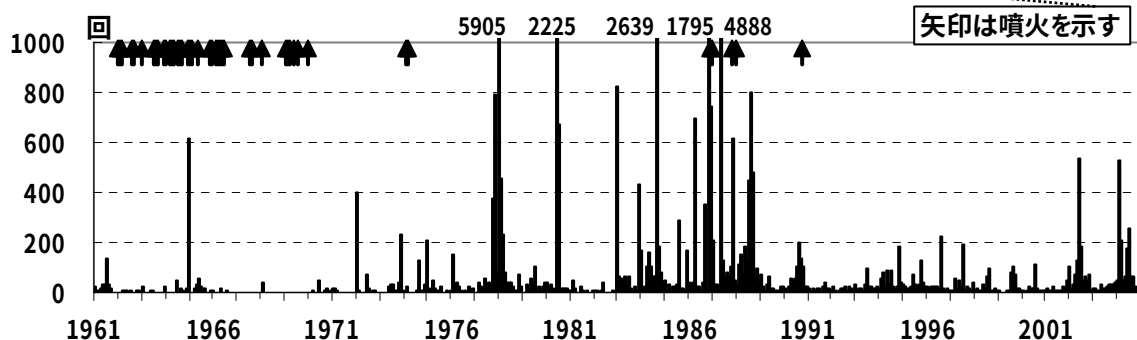
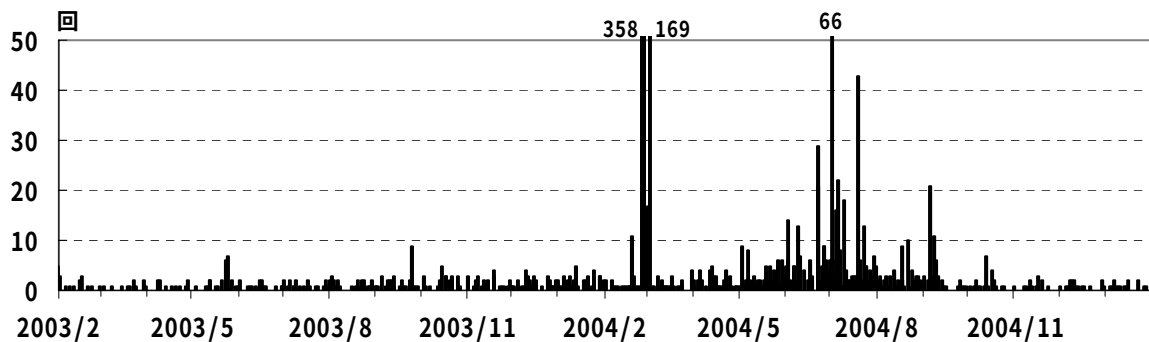


図 1 伊豆大島 火山性地震回数

上：最近 2 年間の日別地震回数

下：月別地震回数（1961 年 1 月～2005 年 1 月）

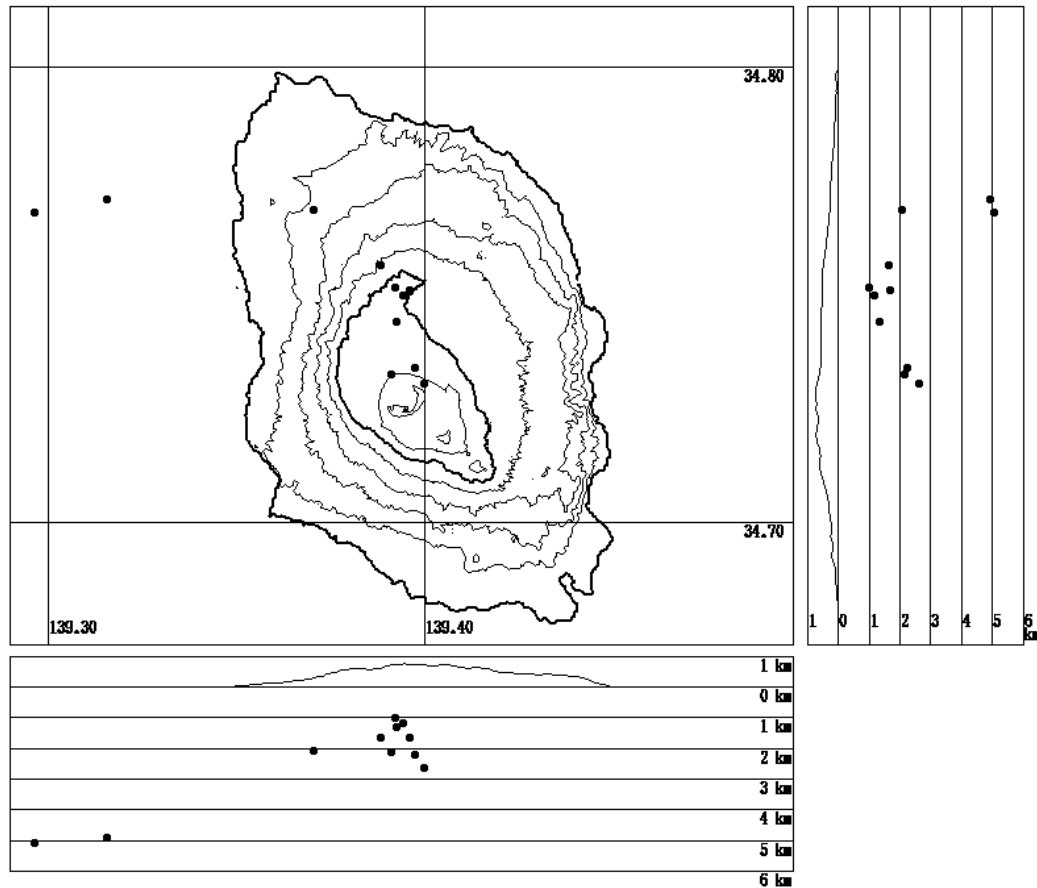


図2 伊豆大島 2005 年 1 月の地震活動

左上：震央分布 左下；東西断面 右上：南北断面

*震源計算に使用した速度構造モデルは、島の北西部及び海域の地震については成層構造、その他の地震については半無限構造 ($V_p=3.1\text{km/s}$)。

（気象庁と東京大学地震研究所、独立行政法人防災科学技術研究所のデータを使用）

○噴煙活動の状況

遠望カメラによる観測では、1 月 24 日に高さ約 100m の弱い噴気が確認されましたが、これは以前から上がっている火孔からの弱い噴気が監視カメラでも確認されたものです。このような噴気は気温の低い冬期に時々見られるもので、火山活動が活発化したものではありません。

○地殻変動の状況

GPS 観測では、山頂を挟む①と②の基線で 2001 年から、年周変動以外に若干の伸びの傾向を示しています（図 3）。

光波距離計（南北方向）の基線では、長期的な伸長傾向は 2000 年以降停滞しています（図 4）。

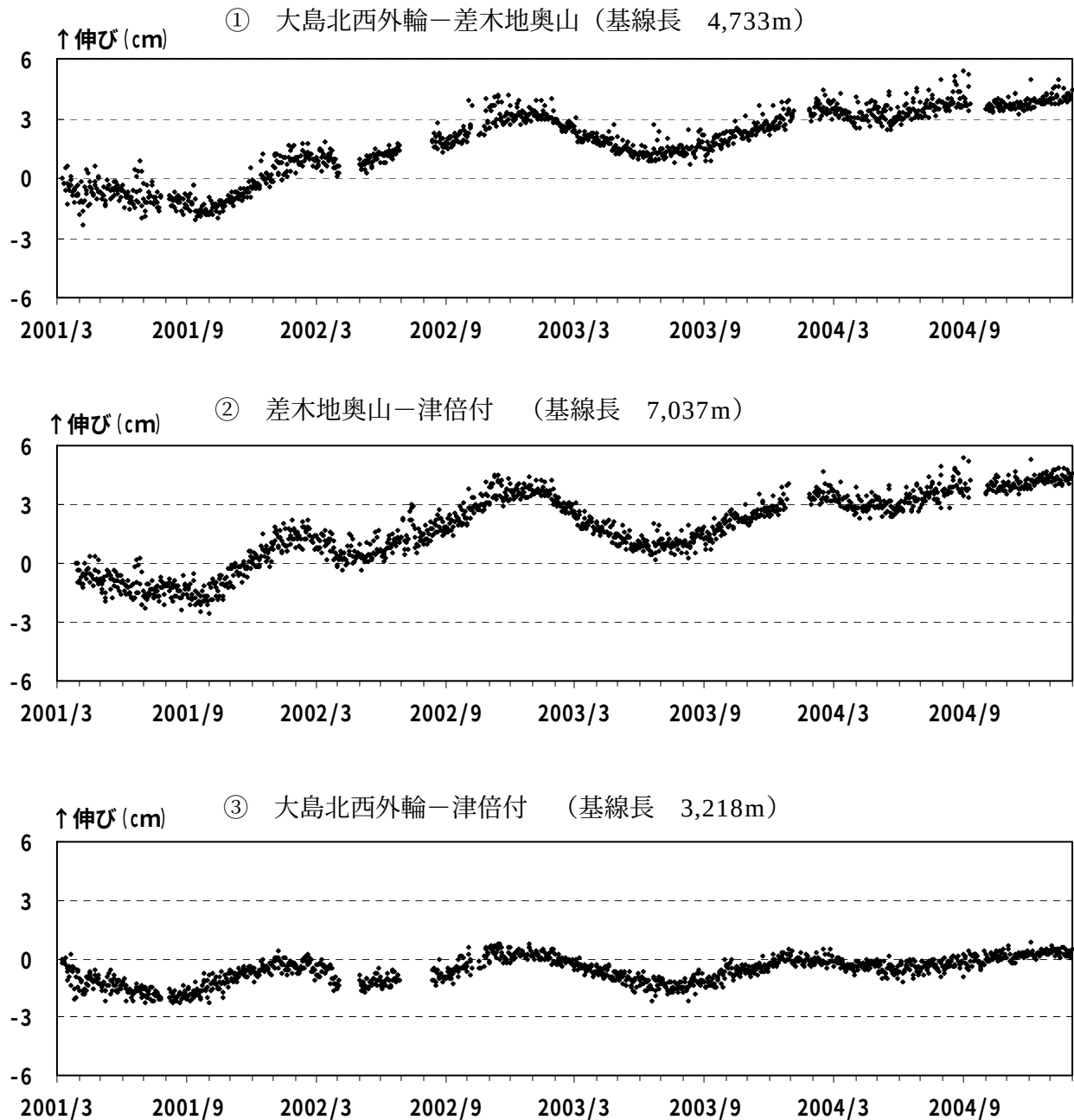


図 3 伊豆大島 GPS 観測結果（基線長変化）（2001 年 3 月 7 日～2005 年 1 月 31 日）

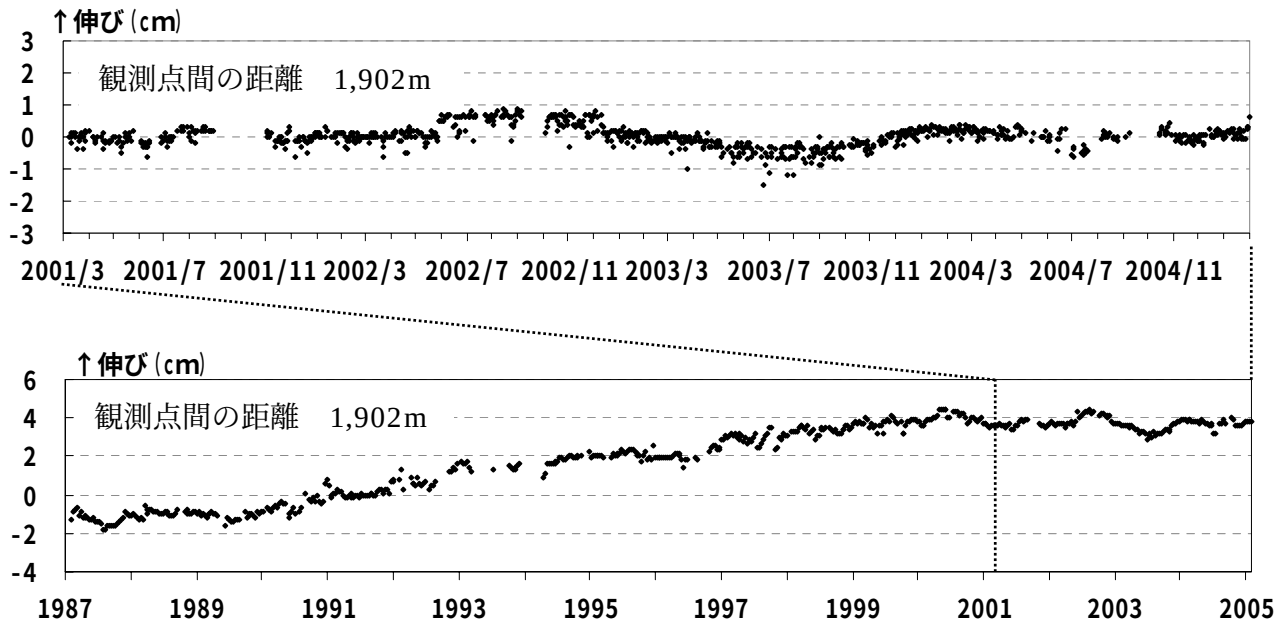


図4 伊豆大島 光波距離計（津倍付～神達）斜距離変化
上：日平均値（2001 年 3 月 1 日～2005 年 1 月 31 日）
下：旬平均値（1987 年 1 月～2005 年 1 月）

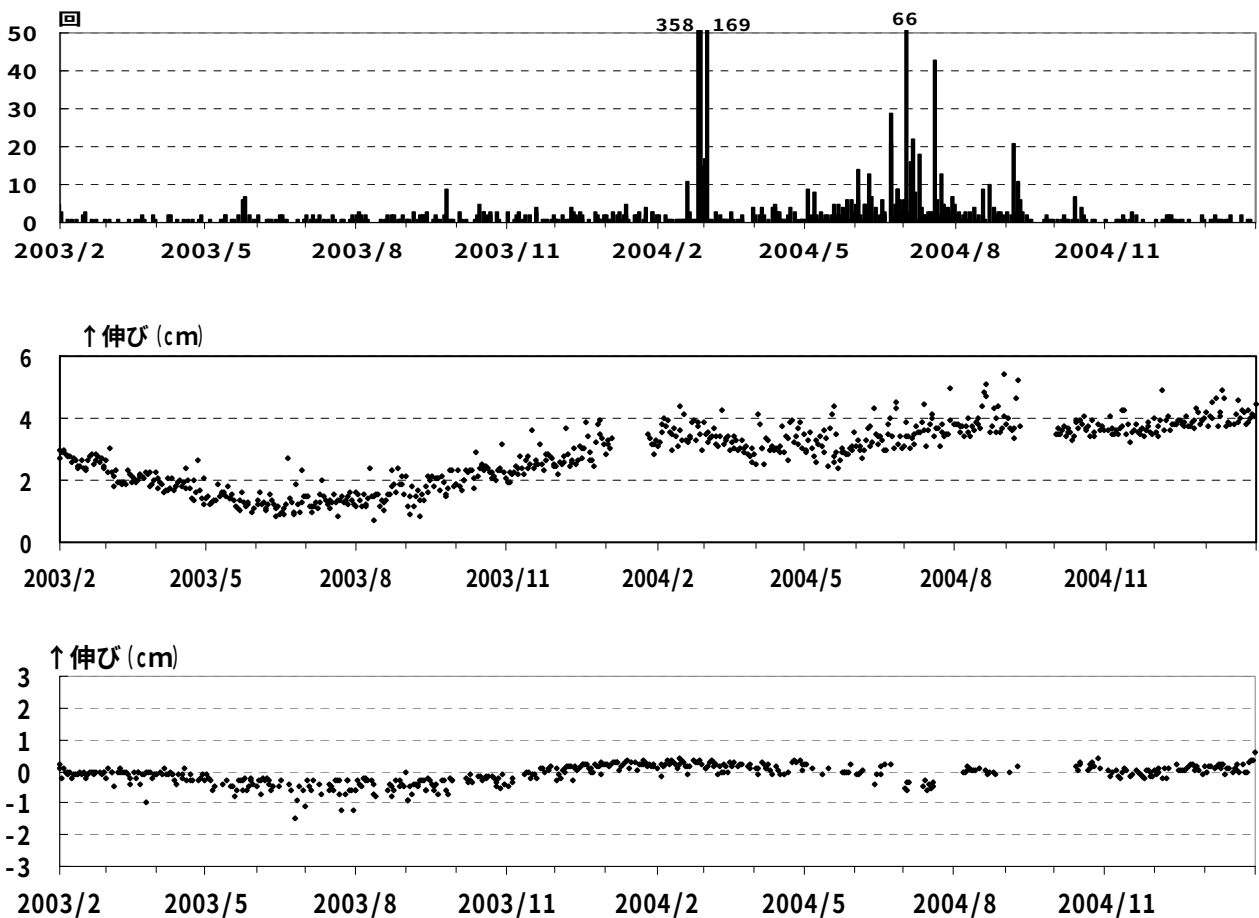


図5 伊豆大島 最近 2 年間（2003 年 2 月～2005 年 1 月）の活動
上：地震回数
中：①大島北西外輪～差木地奥山 GPS 観測
下：光波距離計（津倍付～神達）観測

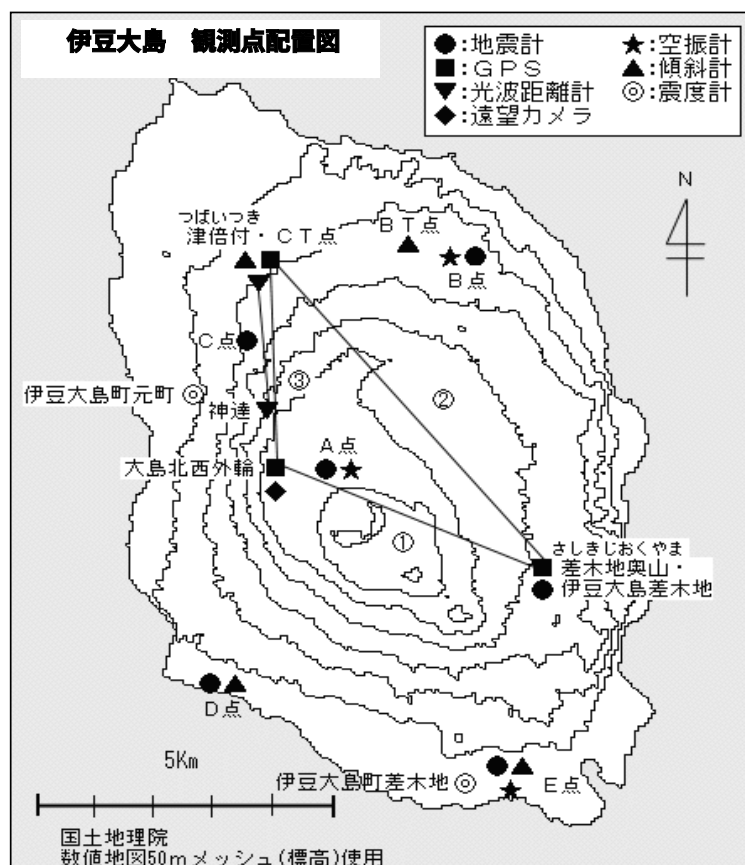


図6 伊豆大島 気象庁の観測点配置